

【十月の言葉（令和四年）】

念仏ってなに？

ご利益を求めるのではなく

仏さまにお任せすることです。

南無阿弥陀仏はインドのサンスクリット語の「ナマス+ア+ミタ+ブツタ」からくる音写語です。ナマスとは「おまかせする」という意味で、アは「無」、ミタは「量」、ブツタは「仏」です。直訳すると「量れ無^{はか}い^な仏におまかせする」という意味になります。〃人間の思い〃では量り知れない大きな慈悲の仏さま（阿弥陀如来）にこの私をお任せする。〃人間の思い〃を超越した阿弥陀如来に私という存在をお任せするということです。もし念仏が、何かの役に立つことになれば、役に立ったことで有頂天になり、逆に役に立たなければ絶望するという、優越感と劣等感の世界へ落ちてしまいます。そうならないために、阿弥陀如来は、称えても称えても、何の役にも立たないように（人間が量れないように）念仏を仕上げてくださいだったので。念仏とは、ご利益を求めるのではなく、人間の分別を超えた阿弥陀如来に私という存在をただただお任せすることです。

